

平成31年 4月入学

# 佐賀大学大学院 学生募集要項

地域デザイン研究科（修士課程）

芸術デザインコース

一般入試  
社会人特別入試  
外国人留学生入試

出願期間	平成30年7月6日（金）～ 7月13日（金）
試験日	平成30年8月24日（金）
合格発表日	平成30年9月4日（火）

佐賀大学

# 目次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	募集人員	5
III	共通事項	
i	出願期間	6
ii	試験日	6
iii	合格者発表	6
iv	入学手続	6
v	納入金	7
vi	奨学金	7
vii	教育職員免許状	7
viii	出願上の留意事項	8
ix	入学志願票等の記入上の注意及び記入例	8
IV	出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等	
IV - i	一般入試	12
IV - ii	社会人特別入試	17
IV - iii	外国人留学生入試	22
IV - iv	教育研究分野等	27

## 個人情報 の 取扱い について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学金・授業料免除、（入学金徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

## 佐賀大学大学院へし出願方法について

佐賀大学大学院(医学系研究科を除く)では、PDFフォームを利用した願書の受付を行っており、募集要項については、原則としてホームページでご確認いただいております。志願者の方は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理できますので、早く簡単に書類作成が可能です。

### ●出願までの手順(概略)

- 本学ホームページからPDFフォームなど必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- 志願票・受験票などに必要事項を入力後、印刷してください。
- 検定料は、納付書を印刷し銀行で振込手続きを行ってください。
- 印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形2号(240 × 332 ミリ)の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。  
なお封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。
- 出願書類は手書きでもかまいません。

\*PDFフォームとは、PDFの閲覧に利用する無償のAdobe Readerで直接データを入力できるようにしたPDFです。

\*Adobe Readerをお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

\*A4サイズの印刷が可能なプリンタの無い方、PDFが表示されない方は本学学務部入試課へ資料請求をしてください。

# I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

## 佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探究・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

# 地域デザイン研究科の入学受入れの方針（アドミッションポリシー）

## 【1】求める学生像

地域デザイン研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営を専門的・学際的に研究することにより、芸術文化と経済経営の複眼的視点から地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力をもつ自律した専門的職業人の養成を目的とします。各コースの求める学生像は以下の通りです。

### ■ 芸術デザインコース

芸術に関して高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野における高度な専門知識や技術を学ぶために必要な基礎学力及び技術を有している人
- ② 地域が抱える問題に対して高い問題意識をもち、その解決や改善に芸術を通して立ち向かおうとする強い意欲のある人
- ③ 芸術に対する幅広い知識や表現能力を有し、それらを国際的に通用するレベルに発展させ、国際的な視野に立って地域社会及び国際社会の発展に寄与したいと考える人
- ④ 地域の伝統工芸や伝統産業が抱える問題の所在を鋭く察知し、その問題解決に新たな芸術的知識や芸術的技術を駆使して当たることで、それらの再生や発展に主体的に貢献したいと考える人
- ⑤ 芸術の理論や表現のみならず、マネジメントをはじめとする、諸分野の知識や方法論を獲得することにより、地域の人々の生活の質（QOL）の向上のために貢献したいと考える人

### ■ 地域マネジメントコース

経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え、芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を持つ人材（ブリッジ・パーソン）を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野の高度な専門知識を学ぶために必要な基礎的な学力を有している人
- ② 地域経済と企業経営活動の諸課題に対して、経営学と経済分析の視点から解決する能力を得ようという意欲を有し、企業や自治体において地域のイノベーションに貢献することを目指す人
- ③ 海外への留学などを視野に入れて学び、地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする日本人学生
- ④ 地域の企業と自治体等で働くなかで見出した課題に取り組み解決していくための高度な経済・経営の知識を学び研究し、それらを活用することで地域経済の発展に貢献することを目的とする社会人
- ⑤ 日本企業の経営活動をふくむ日本経済に関心を持ち、日本で学んだことを活かして地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする留学生
- ⑥ 日本における空間資源・文化資源などの地域資源の保護・活用を学び、母国での経済発展に活かすとともに各国の地域間の連携に貢献したいと考える留学生

## **【2】入学者選抜の基本方針**

地域デザイン研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

### **一般入試**

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目に関する筆記試験、小論文〔芸術デザインコース〕及び成績証明書によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）と研究計画書によって評価します。さらに、各コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、志望理由書によって評価します。

### **社会人特別入試**

大学院受験資格を有し、かつ社会経験を有する者を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、専門科目に関する筆記試験、及び小論文〔芸術デザインコース〕によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。大学院で学習するために必要な明確な問題意識や研究課題を有しているかを、実務経験に基づいて作成した論文〔地域マネジメントコース〕で評価します。

また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）〔芸術デザインコース〕、口頭試問〔地域マネジメントコース〕と研究計画書及び研究業績書によって評価します。基礎学力及び専門的知識と明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、成績証明書及び志望理由書によって評価します。

### **外国人留学生入試**

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、外国人留学生入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、専門科目に関する筆記試験、小論文〔芸術デザインコース〕及び成績証明書によって評価します（筆記試験は口述試験に変更される場合があります）。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質、明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接（口頭試問を含む。）と研究計画書、志望理由書によって評価します。なお、地域マネジメントコースでは、日本語と英語による入試のどちらかを選択できます。

## 地域デザイン研究科で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	専門科目と外国語の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	全コース
		専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	社会人特別入試	芸術デザインコース
		専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	外国人留学生入試	全コース
		小論文によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	芸術デザインコース
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」及び「日本語能力」を評価します。	外国人留学生入試 (日本語による入試)	地域マネジメントコース
		英語の小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」を評価します。	外国人留学生入試 (英語による入試)	地域マネジメントコース
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
		面接(口頭試問を含む。)によって、日本語の会話能力を評価します。	外国人留学生入試 (日本語による入試)	全コース
		面接(口頭試問を含む。)によって、英語の会話能力を評価します。	外国人留学生入試 (英語による入試)	地域マネジメントコース
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
		実務経験に基づいて作成した論文によって、明確な問題意識や研究課題を有しているかを評価します。	社会人特別入試	地域マネジメントコース
		研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
		研究業績書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	全コース
活動ポートフォリオ等によって、専門分野で学ぶために必要な能力や資質について評価します。		社会人特別入試	芸術デザインコース	
興味・関心・意欲	志望コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	志望理由書によって、志望コースで学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生入試	全コース
		面接(口頭試問を含む。)によって、研究意欲等を評価します。	外国人留学生入試	全コース

---

## Ⅱ 募集人員

---

研究科 ・専攻	コース	入学 定員	募 集 人 員	
			一般入試・外国人留学生入試	社会人特別入試
地域デザイン 研究科	芸術デザイン コース	12人	12人	若干人
	地域マネジメント コース	8人	8人	若干人
地域デザイン 専攻	計	20人	20人	若干人

(注) 一般入試及び外国人留学生入試の募集人員の内訳は定めておりません。



---

## Ⅲ 共通事項

---

### i. 出願期間

平成30年7月6日（金）～7月13日（金）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、平成30年7月13日（金）17時必着とします。
- ② 持参の場合は土曜日、日曜日及び祝日を除き毎日9時から17時までとします。
- ③ 入試課ホームページ（[http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin\\_yoko.html](http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html)）の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出してください。  
封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

受験票等の送付

受験票は、試験日の1週間前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き毎日9時から17時までの間に学務部入試課（0952-28-8178）まで、お問い合わせください。

### ii. 試験日

平成30年8月24日（金）

### iii. 合格者発表

平成30年9月4日（火）10時

本学入試課ホームページ（<http://www.sao.saga-u.ac.jp>）に合格者受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じません。

### iv. 入学手続

入学手続については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

また、入学手続は、郵送により行います。

手続期間：平成30年9月25日（火）～9月28日（金）

※平成30年9月28日（金）は、17時必着とします。

## v. 納入金

入学料：282,000円(入学手続き時に納入してください。)

授業料：267,900円(前期・後期) [年額535,800円]

※この金額は、平成30年4月現在のものです。

(留意事項)

- (1) 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。  
なお、合格通知書送付の際、納入方法等改めてお知らせします。
- (2) 授業料は、入学手続き時に納入する必要はありません。納入期間は、下記の通りです。(入学後に付与される学籍番号が必要となります。)  
平成31年 4月3日(水)～ 5月31日(金)
- (3) 一旦、納入された入学金は返還できません。
- (4) 入学料の免除及び徴収猶予の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。  
なお、入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

## vi. 奨学金

学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生の皆さんのために奨学金制度が準備されています。

### ① 日本学生支援機構奨学金

・ 第一種奨学生(無利子)

貸与月額50,000円又は88,000円

・ 第二種奨学生(有利子)

貸与月額50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円から選択

### ② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地佐賀大学学務部学生生活課奨学金担当

TEL 0952-28-8172

## vii. 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、以下のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状(中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科)の一種免許状を有することが必要です。

コース	取得できる専修免許状	
	種類	教科
芸術デザインコース	中学校教諭専修免許状	美術
	高等学校教諭専修免許状	美術, 工芸
地域マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	商業

viii. 出願上の留意事項

- ① 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。  
また、既納の入学検定料は一切返還しません。
- ③ 出願に関する問い合わせ先  
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

TEL 0952-28-8178

ix. 入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- ① ※印欄は、記入しないでください。
- ② 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が記入してください。
- ③ 志願票・受験票・写真票の希望する入学年月を記入してください。

(記入例)

「志望研究科，専攻，コース・専修，講座，分野」の欄

志望研究科，専攻， コース・専修，講座，分野	コード (第4表参照)		
地域デザイン 研究科	2	6	
地域デザイン 専攻	C	A	
芸術デザイン コース・専修			
講座			
芸術 分野			

- コース・専修及び分野まで記入してください。
- コードは(第4表)を参照し、1コマずつ、正確に記入してください。

「氏名」の欄

漢字(アルファベット)氏名	佐	賀	太	郎						
フリガナ(カタカナ)	サ	ガ	タ	ロ	ウ					

- 常用漢字で記入してください。  
(JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられることがあります)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高      崎 → 崎      菜 → 桑  
土 → 土      吉 → 吉      原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

性別		生年月日							
男	女	西暦 年				月	日		
✓		1	9	9	5	0	7	2	5

- 性別は、該当する箇所に✓を入れてください。
- 生年月日で、月及び日が1ケタの場合は右づめとし、1コマ目は「0」を記入してください。

「出身県等」、「留学生」及び「出身学校等」の欄

出身県等		留学生			選抜種別	出身学校等							
第1表参照		国・地域 第2表参照				第3表参照		卒業年月等					
								西暦 年		月			
4	1				1	3	2	2	0	1	5	0	3

- 出身県等は、(第1表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 留学生は、(第2表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 出身学校等は(第3表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入し、卒業等年月(見込を含みます。)を西暦で記入してください。

「現住所及び連絡先等」の欄

- 本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、正確に記入してください。  
なお、出願後、この欄に変更があった場合は直ちに電話で連絡し、さらに、ハガキ等でも通知してください。  
(連絡先) 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地佐賀大学学務部入試課  
電話0952-28-8178

「住所届」

- 合格通知書は、これに記載された現住所に送付するので、正確に記入してください。  
なお、出願後、住所に変更があった場合は直ちに電話で連絡し、さらに、ハガキ等でも通知してください。

(第1表) 都道府県等コード

北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38		
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40	外国	99

(第2表) 国・地域コード

パキスタン	101	大韓民国	113	イラン	201	ウガンダ	312	オランダ	710
インド	102	モンゴル	114	トルコ	202	エチオピア	320	ドイツ	711
ネパール	103	ベトナム	115	シリア・アラブ共和国	204	オーストラリア	401	フランス	712
バングラデシュ	104	中華人民共和国	116	バーレーン	215	ニュージーランド	402	スペイン	713
スリランカ	105	カンボジア	117	エジプト	301	カナダ	501	イタリア	715
ミャンマー	106	ブータン	118	スーダン	302	アメリカ合衆国	502	ポーランド	721
タイ	107	ラオス	119	リビア	303	ドミニカ	607	チェコ	722
マレーシア	108	ブルネイ	120	ケニア	307	ブラジル	608	ハンガリー	723
シンガポール	109	マカオ	121	タンザニア	308	ホンジュラス	618	ブルガリア	726
インドネシア	110	台湾	122	コンゴ	309	パナマ	619	スロバキア	732
フィリピン	111	朝鮮民主主義人民共和国		ナイジェリア	310	イギリス	707	ウズベキスタン	734
香港	112		191	ガーナ	311	ルクセンブルク	709		

(第3表) 出身学校等

佐賀大学 (文化教育学部, 教育学研究科)	31	大学 (国内)	22
佐賀大学 (経済学部, 経済学研究科)	32	大学 (国外)	23
佐賀大学 (理工学部, 工学系研究科)	33		
佐賀大学 (農学部, 農学研究科)	34	高等専門学校専攻科	24
佐賀大学 (医学部, 医学系研究科)	35	短期大学専攻科	25
佐賀大学 (教育学部, 学校教育学研究科)	36	個別審査	26
佐賀大学		専修学校	27
(芸術地域デザイン学部, 地域デザイン研究科)	37	その他	29

(第4表) 研究科, 専攻, コース・専修コード

研究科コード		専攻, コース・専修コード	
地域デザイン研究科	26	地域デザイン専攻	芸術デザインコース CA
		地域デザイン専攻	地域マネジメントコース CB

## IV 出願資格・出願書類・入試方法・試験日程等

IV - i	一般入試	1 2
IV - ii	社会人特別入試	1 7
IV - iii	外国人留学生入試	2 2
IV - iv	教育研究分野等	2 7

---

## IV- i 一般入試

---

### 1 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザイン コース	芸術, アートマネジメント, 地域・フィールド

### 2 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9),(10),(11),(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。(ただし、③については出願資格(10),(11)及び(12)による出願希望者のみ)

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成30年6月22日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。  
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10),(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、平成31年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件(事前に本人に通知します。)を審査します。  
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。



### 3 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ([http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin\\_yoko.html](http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html))から、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 なお、下記（注1）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願書（様式院1-2） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-2） 受 験 票（様式院3-2）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等（注2）	出身大学等作成のもの。（注3）
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研 究 計 画 書 （ 様 式 院 7 - 1 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研究・活動ポートフォリオ 又は卒業研究の概要	研究・活動ポートフォリオはCD-ROMで提出すること。活動内容や作品等の画像の場合は合計10枚以内。動画（Windows Media player 又は QuickTime player で再生可能な形式にしておくこと。）の場合は5分以内。CD-ROMのレーベル面に氏名を記載すること。提出したCD-ROMは返却しません。 卒業研究の概要は任意の様式（A4版1枚）で提出すること。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を自筆で記入してください。
「住民票」又は「在留カード」 の写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合（「C 票 検定料振込証明書」に出納印がない場合）
  - ② 振り込み済の「C 票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- ※ 出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

(注2) 合格者について、卒業見込みの者(本学出身者を除きます。)は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を入学手続き時に提出してください。

(注3) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業(修了)見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

## 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

### 1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、熊本地震で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

### 2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

### 3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内、大学院入試、募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ) 「被災証明書(写し可)」(上記1の①に該当する者)

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1の②に該当する者)

## 4 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験(外国語科目、小論文及び専門科目)、面接(口頭試問を含む。)、成績証明書等を総合して判定します。

### ① 筆記試験

受験する専門科目は、あらかじめ選択し、出願の際、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄にその科目を記入してください。選択した科目以外では受験できません。

ア 外国語科目(英語)

英和辞書持ち込み可(電子辞書を除きます。)

イ 小論文及び専門科目

希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	視覚伝達デザイン、情報デザイン、彫刻、日本画、窯芸、セラミック工学、ミクストメディア、映像デザイン、コンテンツデザイン、西洋画、漆・木工芸
アートマネジメント	博物館学、資料保存、インターカルチュラルコミュニケーション、美術史・美術理論、アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学、都市デザイン、都市地理学、エリアスタディー

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオ又は卒業研究の概要を使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲，研究能力等を判定します。

## 5 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所(受験票を必ず持参してください。)

平成30年8月24日（金）（集合時間・集合場所は，受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
9：00～10：30	外国語科目
10：45～12：15	小論文及び専門科目
13：30～	面接（口頭試問を含む。）

## IV-ii 社会人特別入試

### 1 趣旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。＜21ページ参照＞

### 2 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザイン コース	芸術，アートマネジメント，地域・フィールド

### 3 出願資格

次のいずれかに該当する者で，入学時に社会人として2年以上（入学する月（4月）の前までの間）の勤務経験を有し，かつ職業を有する者，又は，大学を卒業して5年以上（入学する月（4月）の前までの間）の者とします。ただし，勤務先から在職のまま派遣される者については，2年以上の勤務経験は問いません。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入學させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者 [下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)、及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成30年6月22日(金)までに学務部入試課へ事前に協議の上、「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等の提出を求めるとことや面接を行うことがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

#### 4 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ（[http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin\\_yoko.html](http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html)）から、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 なお、次頁（注）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願書（様式院1-3） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-3） 受 験 票（様式院3-3）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒 業（修了）証 明 書 等	出身大学等作成のもの。
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研 究 計 画 書 （ 様 式 院 7 - 1 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研 究 業 績 書 （ 様 式 院 7 - 2 ）	本学所定の用紙を用いてください。研究業績書に記載した研究報告・論文・作品等（原本又は写し）を添付してください。
研究・活動ポートフォリオ	研究・活動ポートフォリオは CD-ROM で提出すること。活動内容や作品等の画像の場合は合計10枚以内。動画（Windows Media player 又は QuickTime player で再生可能な形式にしておくこと。）の場合は5分以内。CD-ROM のレーベル面に氏名を記載すること。提出した CD-ROM は返却しません。
出 願 承 認 書 （ 様 式 院 5 ）	本学所定の用紙を用いてください。ただし、現在在職中の者に限り、社会人としての勤務経験が入学時に2年未満の者で勤務先から在職のまま派遣される者については出願承認書の代りに推薦書を提出してください。
推 薦 書 （ 様 式 は 任 意 ）	勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したもの。ただし、任意提出としますが、社会人としての勤務経験が入学時に2年未満の者で、勤務先からの在職のまま派遣される者については必ず提出してください。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を自筆で記入してください。
「住民票」又は「在留カード」の写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

(注) 下記①及び次頁②の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合（「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合）
  - ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- ※ 出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

## 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

### 1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、熊本地震で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

### 2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

### 3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内、大学院入試、募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ) 「り災証明書(写し可)」(上記1の①に該当する者)

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1の②に該当する者)

## 5 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験（小論文及び専門科目）、面接（口頭試問を含む。）、成績証明書等を総合して判定します。

### ① 筆記試験

受験する専門科目は、あらかじめ選択し、出願の際、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄にその科目を記入してください。選択した科目以外では受験できません。

ア 小論文及び専門科目

希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	視覚伝達デザイン、情報デザイン、彫刻、日本画、窯芸、セラミック工学、ミクストメディア、映像デザイン、コンテンツデザイン、西洋画、漆・木工芸
アートマネジメント	博物館学、資料保存、インターカルチュラルコミュニケーション、美術史・美術理論、アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学、都市デザイン、都市地理学、エリアスタディー

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオを使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲、研究能力等を判定します。

## 6 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所(受験票を必ず持参してください。)

平成30年8月24日（金）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
10：45～12：15	小論文及び専門科目
13：30～	面接（口頭試問を含む。）

## 7 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

本学大学院地域デザイン研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施します。この概要は、次のとおりです。

- (1) 特例の適用を受ける者は、修業年限2年間にわたり夜間における履修を認められます。
  - (2) 特例の適用により履修しようとする者のため、夜間の授業時間帯を2時限(18：00～19：30及び19：40～21：10) 設けます。
  - (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる開講計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせます。
- (注) 一般入試により入学を許可された社会人にあっても、特例の適用をうけることができます。



## IV-iii 外国人留学生入試

### 1 教育研究分野

コース	教育研究分野
芸術デザイン コース	芸術, アートマネジメント, 地域・フィールド

### 2 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した後、日本の大学に入学し、卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]

- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[次頁の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。(ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ)

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、平成30年6月22日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。  
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、平成31年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件(事前に本人に通知します。)を審査します。  
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

### 3 出願書類等（外国人留学生入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ([http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin\\_yoko.html](http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html))から、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 なお、下記（注1）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願書（様式院1-4） 写 真 票（様式院2-4） 受 験 票（様式院3-4）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等（注2）	出身大学等作成のもの。（注3）
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研 究 計 画 書 （ 様 式 院 7 - 1 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研究・活動ポートフォリオ 又は卒業研究の概要	研究・活動ポートフォリオはCD-ROMで提出すること。活動内容や作品等の画像の場合は合計10枚以内。動画（Windows Media player 又はQuickTime playerで再生可能な形式にしておくこと。）の場合は5分以内。CD-ROMのレーベル面に氏名を記載すること。提出したCD-ROMは返却しません。 卒業研究の概要は任意の様式（A4版1枚）で提出すること。
履 歴 書 （ 様 式 院 8 ）	本学所定の用紙を用いてください。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を自筆で記入してください。
「住民票」又は「在留カード」の写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合（「C 票 検定料振込証明書」に出納印がない場合）
  - ② 振り込み済の「C 票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- ※ 出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

(注2) 合格者について、卒業見込みの者(本学出身者を除きます。)は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を入学手続き時に提出してください。

(注3) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業(修了)見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

### 熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

#### 1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、熊本地震で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

#### 2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

#### 3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「入試案内, 大学院入試, 募集要項」からダウンロードできます。

なお、ご請求頂ければ、郵送により送付します。

(イ) 「り災証明書(写し可)」(上記1の①に該当する者)

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」(上記1の②に該当する者)

## 4 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験(小論文及び専門科目)、面接(口頭試問を含む。)、成績証明書等を総合して判定します。

### ① 筆記試験

受験する専門科目は、あらかじめ選択し、出願の際、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄にその科目を記入してください。選択した科目以外では受験できません。

ア 小論文及び専門科目

希望する教育研究分野の出題科目のうちから、1科目を選択してください。

教育研究分野	出題科目
芸術	視覚伝達デザイン, 情報デザイン, 彫刻, 日本画, 窯芸, セラミック工学, ミクストメディア, 映像デザイン, コンテンツデザイン, 西洋画, 漆・木工芸
アートマネジメント	博物館学, 資料保存, インターカルチュラルコミュニケーション, 美術史・美術理論, アートマネジメント・プロデュース
地域・フィールド	考古学, 都市デザイン, 都市地理学, エリアスタディー

② 面接（口頭試問を含む。）

受験者は、提出した研究・活動ポートフォリオ又は卒業研究の概要を使用して5分間のプレゼンテーションを行う。その上で質疑応答を行い、志願者の研究意欲，研究能力等を判定します。

## 5 試験日程等

(1) 集合時間・集合場所(受験票を必ず持参してください。)

平成30年8月24日（金）（集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。）

(2) 学力試験等日程

試験時間	内容
10：45～12：15	小論文及び専門科目
13：30～	面接（口頭試問を含む。）

## IV-iv 教育研究分野等

### ■ 芸術デザインコース

教育研究分野	授業科目	分野	内容	担当教員名
芸術	視覚デザイン特別研究 a 視覚デザイン特別研究 b	視覚伝達デザイン	実験的・習作的デザインから論理的・実践的デザインへのコンテンツ創出を実現するためのタイポグラフィ、エディトリアル、プレゼンテーション等の方法論、スキルについて実践的に学ぶ。ニーズや社会的背景を踏まえたコンセプトメイクとプロセスを重視します。	荒木博申 <sup>※</sup> (教授)
	情報デザイン特別研究 a 情報デザイン特別研究 b	情報デザイン	デジタルメディア社会における文化と表現技術の歴史や思想、理論をふまえ、多様な情報を編集する情報デザイン、インタラクティブ表現、アルゴリズム表現、情報端末を活用した実践活動などの手法を研究し、独自の表現技法を探究します。	杉本達應 <sup>※</sup> (准教授)
	彫刻素材技法特別研究 彫刻表現特別研究	彫刻	古代から現代へ脈々と続く、彫刻作品の存在感につながる表現技法について深く追求することと、その存在としての作品を現代の鑑賞者の感覚と明快に結びつけるために必要な表現理論や技法の研究、そしてその根幹となる人間が持つ量感や触覚感についての研究を行っています。	徳安和博 <sup>※</sup> (教授)
	日本画素材技法特別研究 日本画表現特別研究	日本画	近代以前や以後の日本画のさまざまな表現方法を学びながら、欧米の絵画様式に日本の様式が混淆した現代日本画を研究発展させ、多様な場での展示の試みとともに鑑賞者の参加によって生まれるインタラクティブな場の創造と日本画表現について研究します。	石崎 誠 和 (非常勤講師)
	窯芸素材技法特別研究 窯芸表現特別研究	窯芸	肥前地域は、伊万里焼、有田焼、唐津焼、波佐見焼など古くからやきもの一大産地として知られています。その生産現場の技術と知恵を吸収しながら現代の生活の中でほんとうの豊かさを求めて、現代陶磁の造形思考・生活の器・プロダクトデザイン・陶磁器製作技法・材料工学・製品開発等、多岐にわたる領域を、国内外の陶磁器研究機関と協力して探求します。やきもの領域の「世界」はとても近い。やきものによって人と人が理解しあう喜びを感じてほしい。	田中右紀 <sup>※</sup> (教授)

※印は指導教員として学生に対し指導を行うことができます。

教育 研究 分野	授業科目	分野	内容	担当教員名
芸 術	セラミックエンジニアリング 特別研究	セラミック 工学	美術・工芸を支える伝統的な技術の背後には科学的な根拠が隠れています。それらを明らかにすると同時に、セラミックスを中心として、様々な材料がもつ機能を科学的観点から理解し、基礎的な知識を身につけるとともに、機能を突き詰めた先にある価値を探求します。	赤津 隆 <sup>※</sup> (教授)
	空間表現特別研究 a 空間表現特別研究 b	ミクスト メディア	現代美術における独自の表現を追求します。また、地域社会の中での美術の在り方や可能性について、場所、歴史、そこに関わる地域の人々の生活など、多面的な視点で研究を行います。	柳 健司 <sup>※</sup> (教授)
	映像デザイン特別研究 a 映像デザイン特別研究 b	映像デザ イン	映画、アニメーション、CG、VR等、映像制作に必要な要諦は常に自己と他者の関係性にあります。そのために実験映画から商業映像まで表現方法の咀嚼と反芻を経ることで、社会に提言できる作品を目指します。技法に拘泥せず、ロジックとセンスを保ちながら次世代映像デザインを探究します。	中村隆敏 <sup>※</sup> (教授)
	コンテンツデザイン特別研究 a コンテンツデザイン特別研究 b	コンテン ツデザイ ン	私たちは眼前に広がる世界の見え方を如何に更新できるか？これは私たちがこの世界とどのように関わっているのかを見つめ直すことでもあります。表現メディアや技法の新旧にとらわれず、より広域なアプローチを志向した知覚デザインの研究と実践を目指します。	土屋 貴 哉 (准教授)
	西洋画素材技法特別研究 西洋画表現特別研究	西洋画	ルネサンス期からバロック期の作品模写を通して、絵画技術を習得し、展覧会などを通して実践的な作品発表を行います。自作や絵画の歴史などを現代の作品を通して表現することの意味や意義を研究し、育成していきます。	小木曾誠 <sup>※</sup> (准教授)
	漆・木工芸素材技法特別研究 漆・木工表現特別研究	漆・木工 芸	漆工芸又は木工芸における素材や技法について、伝統的な技法を切り口にしつつ、独自の視点を持って研究を行います。また、明治から現代につながる工芸の歴史と理論を学び、理論と素材技法の双方への理解を深め、漆工、木工分野での現代における表現を研究します。	井川 健 <sup>※</sup> (准教授)

※印は指導教員として学生に対し指導を行うことができます。

教育 研究 分野	授業科目	分野	内容	担当教員名
アート マネジ メント	キュレーション特別研究Ⅰ キュレーション特別研究Ⅱ	博物館学	実地調査、文献の購読（外国語を含む）等を通して、博物館について学びます。博物館を運営する立場からの博物館学的視点や美術史の観点から考察すると同時に、社会の中での博物館の役割を考える利用者としての視点から、現代の博物館の諸問題について整理し、考察します。	小坂智子※ (教授)
	芸術文化遺産特別研究 アートコンサベーション特別 研究	資料保存	芸術文化遺産保護の歴史と理念、芸術と保存倫理、保存科学を踏まえた博物館資料(テキスタイル)の保存管理と保存修復、美術品の科学分析による美術技法史を研究します。佐賀の博物館をフィールドに、佐賀の芸術文化を通じて、地域と世界を結ぶ文化遺産保護の国際協力についても研究します。	石井美恵※ (准教授)
	異文化コミュニケーション	インター カルチュ ラルコミ ュニケー ション	芸術の理解・創作・発展の過程が異文化コミュニケーションそのものであるという立場から、国際語としての英語を使うことで異文化であることに起因する諸問題・相互作用を研究し扱うためのモデルに精通し批評的分析力を高め、さらなる芸術への理解力の深化・創作力を育成します。	ホートン・ス テファニー・ アン※ (准教授)
	美術史特別研究Ⅰ 美術史特別研究Ⅱ	美術史・ 美術理論	作品と照らし合わせながら、美術史の方法論、歴史記述の方法について学び、造形芸術の諸問題について追及していきます。西洋初期近世を主たる研究領域とし、外国語文献・史料の解読にも積極的に取り組みつつ、美術史を他の文化史との関連の中で見る視点も培っていきます。	吉住磨子※ (教授)
	アートマネジメント・プロデュ ース特別研究Ⅰ アートマネジメント・プロデュ ース特別研究Ⅱ	アートマ ネジメン ト・プロ デュース	国内外の近現代美術を主な対象としてアート・プロデュースに関する先行事例やそれらにまつわる議論を研究しつつ、そこで得られた知識を踏まえた上で、現代の芸術の動向や社会的条件に即したアート・プロジェクトを企画し、実践するための方法論を学びます。	花田伸一 (准教授)

※印は指導教員として学生に対し指導を行うことができます。



教育 研究 分野	授業科目	分野	内容	担当教員名
地域・ フィールド	ヘリテージマネジメント論 ヘリテージマネジメント特別 研究	考古学	地域の歴史遺産の保存、マネジメントについて、考古学的な史跡をはじめとする記念物を主対象に考えます。佐賀を中心とした地域の遺産を題材としつつ、世界遺産の保存管理などの国際的な動向、我が国の文化遺産に関する政策の動向とも照らしあわせて、研究を進めます。	重藤輝行※ (教授)
	都市デザイン論 都市デザイン特別研究	都市デザ イン	都市デザインの思想とその系譜を理解した上で、現代の日本の都市に求められる将来像やモデルを議論しながら都市をデザインする方法を学びます。また、研究対象となる具体的なフィールドを設定して、その都市の現況を理解して都市の再生に寄与できる都市デザインの方法を研究します。	有馬隆文※ (教授)
	都市空間論 都市空間特別研究	都市地理 学	都市地理学の専門的知識や理論について研究を深めます。室内における講義や文献学習などのデスクワークに加え、実際に現地に出かけて自ら体験学習するフィールドワークとの統合的・一体的な学習活動を通して、専門的知識の深化と実践・応用力の習得を目指します。	山下宗利※ (教授)
	国際関係と地域創生 地域史特別研究Ⅰ 地域史特別研究Ⅱ	エリアス タディー	世界各地域に存在する多様な文化表象に込められた民族・国家の興亡・摩擦・征服、そして地域に根差した紛争と和解・復興の物語を読み解く。植民地主義、ナショナリズム、権力などをキーワードとして、国際関係・地域における交流・摩擦・紛争・和解の歴史と現代的意味を考察します。	山崎 功※ (教授)

※印は指導教員として学生に対し指導を行うことができます。

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail [contact@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:contact@mail.admin.saga-u.ac.jp)